

郷土の会だより

発行責任者
岡村昭則

「俳句ユメクラブ」便り 3

暑かった夏の気持ちは何処へやら・・・今冬は
厳寒に見舞われるかも、との長期予報「こつした
季節の移り変りに更に敏感になった会員一同で
す。句会の度に喜んでいたり、つかりたり、でもそれなりに
俳句を楽しんでいる仲間の作品をお送りします。

「七月句会より」

傾けし日傘の中の会釈かな 小林久美子
靴セー ル梅雨も吹きとぶ人の群れ 中島和子
華やかに日傘行き交ふ銀座かな 松野吉光
日傘さえ日陰を選ぶ唇下り 森田啓資
散策の背を押すごとし蝉の声 伊藤昭子
風鈴やピクリと動く猫の耳 岡田時雄
白髪ゆると歩む日傘かな 今村信博
白桃を不器用に食ふ唇下り 浅見法子

・梅田先生の句

ほのと香をのこして日傘すれ違つ 梅田ひろし
水打てり見えざるものへ怒りこめ 梅田ひろし
冷房の不意打ち百貨店に入る 梅田ひろし

「八月句会より」

八月句会より・吟行句会
風死して身の置き場なし花の丘 宮島昭夫
雲のさま変りて秋のけはひかな 岩松忠子
藤の実を話題に入る木陰かな 野村侃滋

手のひらに止まる蜻蛉を愛しめり

八千代幸男

静けさを破る勢ひ蝉時雨

森田啓資

自転車を漕ぎて風切る炎天下

瀬戸川公子

公苑にひとり気を吐く百日紅

菅原昭夫

・梅田先生の句

酔芙蓉いささか胸のとぎめけり 梅田ひろし
日疲れをしたるごとくに夏柳 梅田ひろし

「九月句会より」

唐突に断ち切られたる残暑かな 吉野利美子
まつたりと地に臥す犬の残暑かな 中島和子
秋なすび色深くして今朝の風 小林健一郎
楚楚と立つ鉢に植えたる女郎花 伊藤昭子
菜園の時時迷ふ残暑かな 宮島昭夫
古寺に群れてあやしき曼珠沙華 浅見法子
名月を膝に招いて酒を酌む 有村弘
夕空にまんまる月が見え隠れ 長澤輝子

・梅田先生の句

山門にしばし凌げる残暑かな 梅田ひろし
きざきざと蜻蛉(とんぼ)の目を散らし飛ぶ 梅田ひろし

新涼のひたひた寄する湖(うみ)の水 梅田ひろし

「十月句会より」

秋色を映す蔵王のお釜かな 小林健一郎
揺れるたび心とます秋桜 菅原昭夫
小紫残る雨滴の輝けり 小林久美子
子らの歓声(こゑ)吸い込みてなほ天高し

天高く囃子の笛のぼりけり

岩松忠子

天高し池塘を臨む秋田駒

長澤輝子

風にゆれコスモスの中小宇宙

瀬戸川公子

ガン検査無事の報せや天高し

岡田時雄

赤蜻蛉ヒオトブから飛び立ちて

有村弘

朝霧に後光の如く陽が浮かぶ

野村侃滋

天高し今日も在せる富士の山

松野吉光

満月に宵の明星寄り添へる

八千代幸男

秋の蝶日に染まらずに高く舞ふ

今村信博

・梅田先生の句

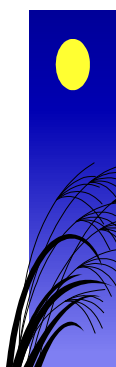
古墳より見下ろす古墳秋高し 梅田ひろし
虚勢とは思はず赤きピラカンサ 梅田ひろし
実のどこもゆるみなかりし榎砥(かりん)かな 梅田ひろし

俳句ゆめクラブ第2回目の作品集として七月から十月
の句会の作品をご紹介します。

句会では各自三句位を提出し、その中から梅田先生が選
ばれた優秀句等をご紹介します。しかし紙面に限り外
にも多数の選ばれた句があります。しかし紙面に限り外
ある為に会報係として選択させて頂いていますが、この
点会員の皆様の暖かい了解を頂けるものと信じており
ます。

又、会員でない皆様には懲りずに鑑賞下さっているこ
ととこれ又信じて発表させて頂いておりますので今後と
も宜しくお願い致します。

(会報係・小林健一郎 記)



「郷土の会」第3回交流会 予告

実施日 2月7日(月曜日)
 会費 4000円
 集合 大宮駅西口徒歩三分 居酒屋“花のれん”
 17:30
 懇親会 みなさま直接会場へ集合して下さい。

お時間のある方へ

ニューシャトル鉄道博物館駅より鉄道博物館の見学もできます。

入館料 1000円(スイカ利用もできます)

責任者 北氏 和雄 氏 048-882-7173

鉄道博物館の概要

鉄道博物館は埼玉県さいたま市大宮区大成町および北区大成町にある鉄道に関する博物館です。東日本旅客鉄道(JR東日本)の創立20周年記念事業のメインプロジェクトとして2006年5月24日に閉館した交通博物館に替わる施設として2007年10月24日の鉄道の日に開館しました。財団法人東日本鉄道文化財団が運営しています。



専科第一期校友会第四回理事会開催!

(12月10日)

伊奈連・県連関係報告

出席者 田中、北氏、相場、吉野、小林、安藤、松野、熊倉、岡村の9名の理事

専科コースから3名参加

一、伊奈連社交ダンスパーティに八十五名参加

二、グラウンド・ゴルフ県連大会へ伊奈連より二十一名参加。今年度は個人参加であったが、来年度は団体参加にどうか検討する。

三、学園祭に伊奈連校友会会長が挨拶、いきがいつエステイバルは大盛況で約一万五千人が参加。今年度は十八期が担当。来年度は十九期担当。

四、公開学習については伊奈連で出番なし。

五、この一年間の専科第一期校友会の行事計画等を伊奈連に報告することを要請されている。副会長がまとめて報告することになった。

専科第一期校友会関係

一、二月十二日の理事会までに各コースとも新理事を選出して報告し、当社は新理事予定者も参加する。

二、**総会は三月二十日として、残金があるので昼食つきとして県活で開く。** 総会経費は見込みで行い精算後の金額は繰越金として次年度会計扱いとする。

三、今年度の事業及び会計報告以外の、新年度予算案・事業計画案はつくる。会費は千円が妥当ではないかと云う意見が多数を占めたので、それも伝えて新理事の考え方も交えて案を作成する。

いきがい大学伊奈学園校友会連絡協議会

平成22年度事業実施記録(報告)

事業名等	事業名	伊奈連協第19回合同研修会		担当期	第19期校友会 代表理事 早戸憲吾				
				(補助)	● 専科1期校友会 代表理事 田中 忠				
	開催期日：平成22年11月26日(金) 開催場所：埼玉県民活動総合センター								
研 修 会 実 施 内 容	※午前の部 開校式(全体集会)		小ホール(9:15~9:40)						
			開会の辞 伊奈連協副会長 林 栄治 校歌斉唱 指揮第19期飯島文子 主催者挨拶：伊奈連協会長 島田 金蔵 来 賓挨拶：(財)いきいき埼玉理事長 櫻井 正彦						
	各期研修会の開催		各会場(10:00~11:40) 各期はそれぞれ独自の企画を立案し、実施した。 第19期の研修は第19期校友会のシンボルマークの制定、校友会旗の作成等を討議後 後期事業計画の確認、各クラスの活動報告、イナヴォイス及びHP委員会の 活動報告並びに各クラブ部活動を紹介します。さらに福祉環境科が10/22の「第1回 ボランティア発表会」で公開した内容をダイジェスト版で発表する。						
	※午後の部 合同研修会		小ホール(13:30~15:30 《シニアのためのトランペット演奏とトーク》)						
	*トランペット奏者 織田 準一		*ピアノ演奏 織田 英子		*出演：オリパパとトランペット吹き隊14名				
	*第1ステージ：3大アベマリアほかクラシックの名曲、7曲を軽妙なトークを織り交せて演奏		*第2ステージ：夜空のトランペットほかポピュラーの名曲8曲を演奏、明るい語りは勇気を与える						
	閉会の辞 伊奈連協副会長 樋口 勝彦								
	※参加者数(受付者数)単位：名								
	第1期	11	第6期	0	第11期	20	第16期	58	合計
	第2期	2	第7期	12	第12期	60	第17期	46	628
	第3期	2	第8期	15	第13期	68	第18期	41	演奏会参 加者
	第4期	10	第9期	11	第14期	39	第19期	86	
	第5期	6	第10期	12	第15期	63	専科1期	66	約370
準 備 経 過	<ul style="list-style-type: none"> 3月20日第1回準備会を開き、18期校友会会長 田中 康勝氏より第18回の概要説明を受け、第19回合同研修会の運営方法、研修プログラム等の検討を行い、次期役員に提出する「提案書」作成の準備を開始する。 4/8・5/13の第19期校友会理事会・幹事会で提案書の内容(出演者等)を説明し、「織田準一様」を第1候補とする。 5/13の伊奈連協総会において、19期校友会が新規加入者として紹介を受け、次期会長に「提案書」を説明する。 6/10&8/19の理事会で「第19回合同研修会」の開催承認、開催案内文と研修内容・講師の承認を得る。 8/19の第2回理事会で各期会長に対し、参加者数の調査を依頼する。また当日の研修プログラムを提示する。 10/12小ホール内でジャパンステージアートと研修会時の進行・時間展開・音響・照明・備品関係の事前調整を行う。 10/14の第3回理事会で各期の参加者数確認と合同研修会時の演奏プログラムを案内する。 11/18各役割分担の確認、11/25pm5:30から最終準備とリハーサルをpm8:00まで行い、本番に備える。 								
	実 施 状 況	実施結果の感想			事前の問題点			反省事項等	
<ul style="list-style-type: none"> 参加数は開講式約400名、午後の研修会は約370名となり、実数628名との調整困難を知る。 合同研修会プログラムの「織田準一」公演は目的を達成した。 			<ul style="list-style-type: none"> 16期研修会場304セミナー室収容不可により、セミ2に変更、これにより19期は小ホールを研修会場とする。 小ホールは浮揚可動式会場のため、安全性を優先、開講式に19期・専科1は遠慮した 			<ul style="list-style-type: none"> 今回初めて「午前の部」に「開講式」を導入する。また専科1と共同運営方式を採用する。成功裡に終了できた プログラムの校歌の部分は廃止し、内容を一新し、事前に配布する方法を検討すべき 			
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 伊奈連協事業予算：合同研修会助成金：100,000円+研修会諸費70,000円=計170,000円(別途各期会場負担金31,830円) 決算報告：収入：201,830円、支出：185,385円、残高：16,455円(内公演費：85,308円) 今回招待者：働いきいき埼玉櫻井理事長、県連協小瀬会長、伊奈学園氏家所長、20期・専科2期自治会役員 来年度第20回は20期生及び専科2期が加わり、今年度628名+来年度160名=計788名を予測、実施方法等の再検討が必要 次期担当は第20期・専科2期 								
	2010/12/9								